

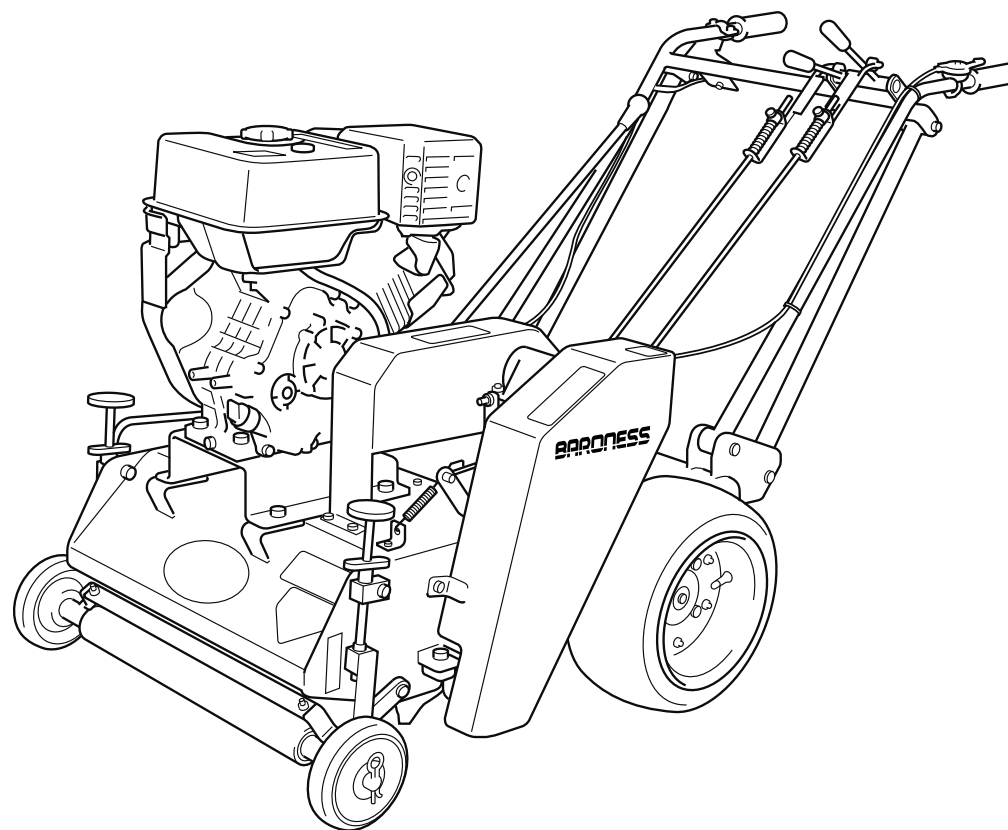
グリーンスライサー

GS500B

バロネス管理機

取扱説明書 & パーツカタログ























2007.9~



“必読” 機械のご使用前に必ず本書およびエンジンの
取扱説明書をお読みください。

BARONESS

目 次

目 次	1	5.   作業手順	11
安全に関する警告について	2	5-1.   作業手順操作	12
ごあいさつ	2	6.   スライス刃の交換	13
安全作業のための注意事項	3	6-1.  刃物軸の切り離し	13
各部の名称	5	6-2.  スライス刃の交換	13
各部のラベル	6	6-3. 機番プレート取付位置	14
GS500Bの特長	7	6-4. メンテナンス諸元表	14
仕 様	7	6-5. メンテナンス時の機械姿勢について	14
取扱説明	7	7. 長期保管について	14
1. 使用前点検	7	8. ミッションオイル交換手順	14
1-1. エンジンオイルの点検	7	9.    エンジン取り扱い上の注意事項	15
1-2. ワイヤーの点検	7	10. メンテナンススケジュール	15
2. 各部の締付	7	パーツカタログ	16
3. エンジン始動運転順序	8	1. フレーム・エンジン部	17
3-1.  エンジン始動について	8	2. 伝動部	19
3-2.  エンジン始動運転方法	8	3. フロントローラー部	21
3-3.  エンジン停止方法	8	4. 刃物・スタンド部	23
3-4.  燃料給油	8	5. ミッション部	25
3-5.  機械を離れる時の注意	9	6. ハンドル部	27
4. 機械の操作について	9	7. カバー&付属品部	29
4-1.  操作をする前に	9		
4-2. カッタークラッチレバー・走行クラッチレバー	9		
4-3. カッタークラッチレバー・走行クラッチレバーのテンション調節	9		
4-4.  ハンドルの高さ調節	9		
4-5.  ブレーキレバー	10		
4-6. スロットルレバー	10		
4-7.   移動用前車輪	10		
4-8.  切り込み深さ調節	11		
4-9. [重要] グリースアップ	11		

安全に関する警告について

本機には、正しく安全な操作を行っていただくために▲印をつけた警告表示ラベルを貼付しています。

警告表示ラベルは安全上、特に重要な項目を示していますので、警告を必ず守り、安全な操作を行ってください。

警告表示について

▲ 危険 : その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。

▲ 警告 : その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示しています。

▲ 注意 : その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものを示しています。



…取扱説明書参照



…注意マーク
(ベルトに手や指の巻き込まれ注意)



…エンジンスイッチ



50h

…グリスアップ



…燃料



…危険マーク
(回転中)



…注意マーク
(高温部)



…警告マーク
(排気ガスに注意)



…危険マーク
(火気厳禁)



…注意マーク
(はさまれ注意)



…危険マーク
(飛散物)



…注意マーク
(刃物注意)

ごあいさつ

このたびは、バロネス管理機GS500Bをお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書は、正しい取扱い方法と調整方法、また点検方法について説明しています。機械をご使用になる前に必ず本書を読んで、内容を十分に理解してからご使用下さい。

なお、工場完成時には十分な試運転・検査を重ねた上で出荷しておりますが、機械が本来の性能を発揮するためには、取扱い方法や作業前後の点検・調整・給油等の日常の管理が大きく影響します。いつまでも優れた性能を発揮させ、安全な作業をしていただきますようお願いいたします。

ご 注 意

- 本機は、形式が順次変わっている場合があります。
本機に関するお問い合わせの節は、必ず型式・製造番号を合せてご通知下さいますようお願いいたします。
- なお、本機記載事項は、予告無しに変更する場合があります。

▲ 注意 … 運転について

- この取扱説明書や機械に使用されている警告表示ラベルは、安全確保のための説明が書かれています。操作手順や安全注意事項を注意してお読みいただき、充分理解してからこの機械を運転して下さい。
- マークや説明文はきれいに保ち、無くなったり損傷があった場合には、すぐに新しいものと交換してください。
- なお、本機に貼られている警告表示ラベルは絶対にはがさないでください。

安全作業のための注意事項

本機は、スライス刃（鋭利な刃物）を回転させる機械で、使用する場所、障害物、芝生の条件等いろいろありますから、使用者は機械の点検整備の徹底をはかり、機械操作の熟練に努め、自己の安全を図るとともに他人に危害を及ぼさないように、正しく機械を使って安全第一に作業されることをメーカーとして強く要望します。

1) 安全のための衣服について

▲ 警告

- 安全のため、機械に巻き込まれないきちんとした衣服を着用し、作業に適した安全器具・眼鏡・靴・ヘルメット・手袋等を着用してください。



2) 緊急時の対応について

▲ 注意

- 緊急時にエンジンをストップする方法を知っておいてください。

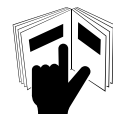
3) こんなときは運転しない

▲ 警告

- 疲れているときは機械を使用しないでください。もし機械使用中に疲れた場合は、作業を中断し、休憩してください。
- 病気の人、酒を飲んでいる人、薬物の影響のある人は機械を使用しないでください。視覚や敏しょう性、判断力に影響を及ぼします。
- 機械操作に不慣れな場合は、取扱方法や安全注意事項をよく理解してから機械を使用してください。また、子供には使わせないでください。

4) 機械を他人に貸すとき

▲ 注意



- 機械を他人に貸すときは、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こすことがあります。取扱方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

5) 機械改造の禁止

▲ 注意

- 機械の改造はしないでください。機械の改造や、当社指定以外の部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故を招くことがあります。
- 部品および油脂類の交換をするときは、当社が指定するものを使用してください。

6) マフラー・エンジン回りのごみは取り除く

▲ 警告



- エンジン冷却風入口、エアクリーナ空気取入口、マフラー、エキゾストパイプ部に芝カスなどの異物がたまりますと、エンジン不調、オーバーヒートなど火災の原因になりますので、すみやかに作業を中断し、過熱部が十分冷めるのを待って、取り除いてください。

7) 夜間走行・作業の禁止

▲ 警告

- 本機は照明装置を備えていませんので、夜間や視界の悪いときは走行、作業をしないでください。

8) 作業開始前の安全点検

⚠ 危険

- 全てのカバー類が、所定の位置にきちんと取り付けられているか、破損しているところはないか確認してください。
- ボルト・ナット類がゆるんでいないかよく調べてください。ゆるんでいる時は、確実に締め付けを行ってください。
- ブレーキ・レバー類、タイヤ等の作動に異常がないか確認してください。

9) 作業中の注意事項

⚠ 危険



- 運転中、周りに人がいないか破損する恐れのある物がないか確認し作業をしてください。

- プレイヤーが近くにいないか確認してください。打球が飛んでくる危険があります。

- 飛散物、刃でケガをしないように充分注意してください。

⚠ 警告

- 本機は、グリーン用管理機械ですので急傾斜地での作業は、横転の危険が非常に高いので使用しないでください。

- 転倒やスリップの危険がある場所では、運転しないでください。

⚠ 危険



- 動力作動中は回転物に触れないでください。回転物で指や手をケガをする危険があります。

- どのような場所でも緊急停止ができる速さで運転し、急発進、急ハンドルはしないでください。特に坂道を下る時は、必ず低速走行してください。

- スロットルを急に高速にしないでください。機械の前部が跳ね上がる危険があります。

- 作業中、異常振動や異常音の発生等、機械の異常を認めたら直ちにエンジンを停止して原因を調べ、完全に補修した上で再使用してください。

⚠ 危険

- 本機から離れる場合は、機械を水平な場所で停止させ、エンジンを停止させてブレーキストッパーをかけてください。

10) 点検時の注意

- 実施する保守・点検を熟知してください。
- 保守・点検は乾燥したきれいで平坦な場所で行ってください。
- エンジンは必ず停止し、それを確認してから作業を行ってください。
- 機械が作動中は、給油や保守・点検をしないでください。
- 駆動、作動部分には手足を近づけないでください。
- 全部品は良い状態で正しく取り付けてください。
- 損傷部品は直ちに修理、交換してください。
- 磨耗損傷部品は交換してください。
- 機械の改造はしないでください。整備上の必要部品は、安全確保のため純正部品を使用してください。
- ゴミやグリス、オイルの付着は取り除いてください。

⚠ 注意

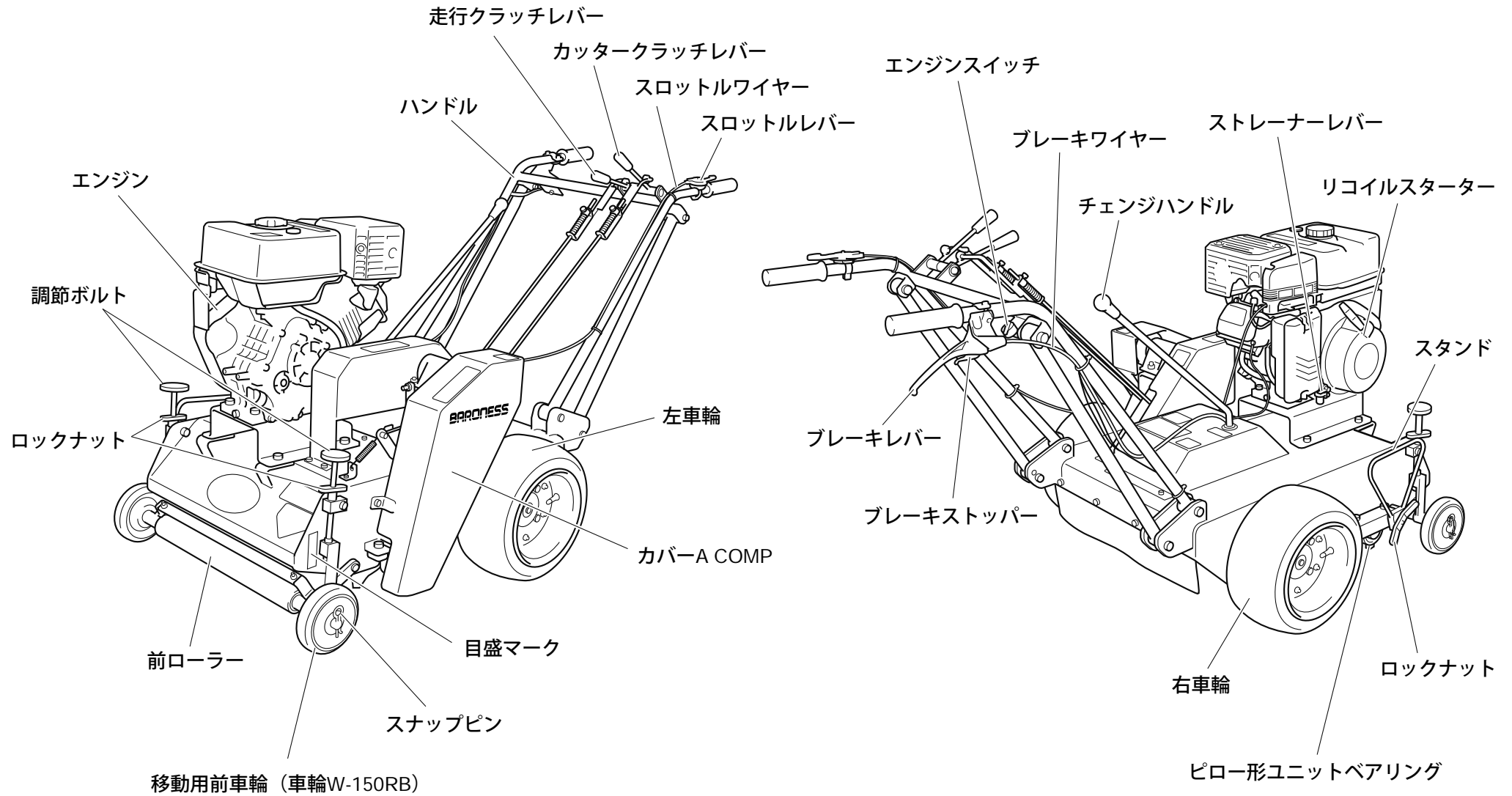


- 機体を持ち上げて作業を行う場合は確実に固定するよう、必ず適切な支えを設けてください。

11) 保管について

- 機械にシート等を覆いかける場合は、エンジンが冷えてから行ってください。
- 6ヶ月以上運転しないときは、燃料タンク、キャブレター内のガソリンを抜いてください。

各部の名称



各部のラベル

KW56110AA
コーションラベル

危険
火気厳禁

- 給油時は必ずエンジンを停止して下さい。
- 給油口に火を近づけると火災の危険があります。 KW56069AA

無鉛ガソリン

KW56070AA
コーションラベル

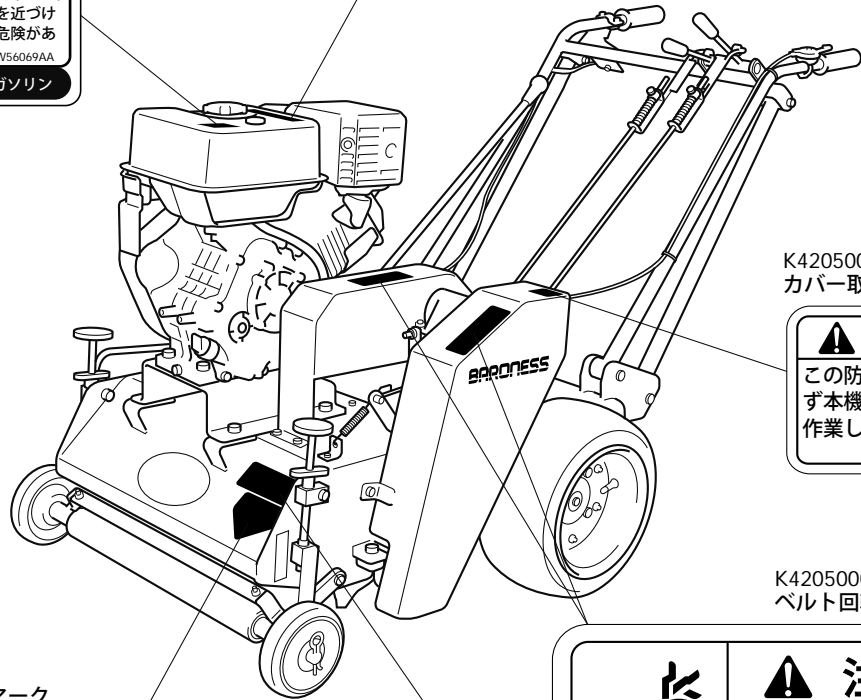
注意 KW56070AA	マフラー高温注意 さわるとやけどをするおそれがあります。	警告	排ガスに注意 室内や換気の悪い所での運転は人体に有害で危険です。
------------------------	--	-----------	--

K4205000650
クラッチ注意事項

注意
(クラッチ)
テンションクラッチは作業直前に入れ、それ以外の時は必ず切っておいて下さい。
K4205000650

K4205000480
カバー取付注意マーク

注意
この防護カバーは必ず本機に取り付けて作業して下さい。
K420500480

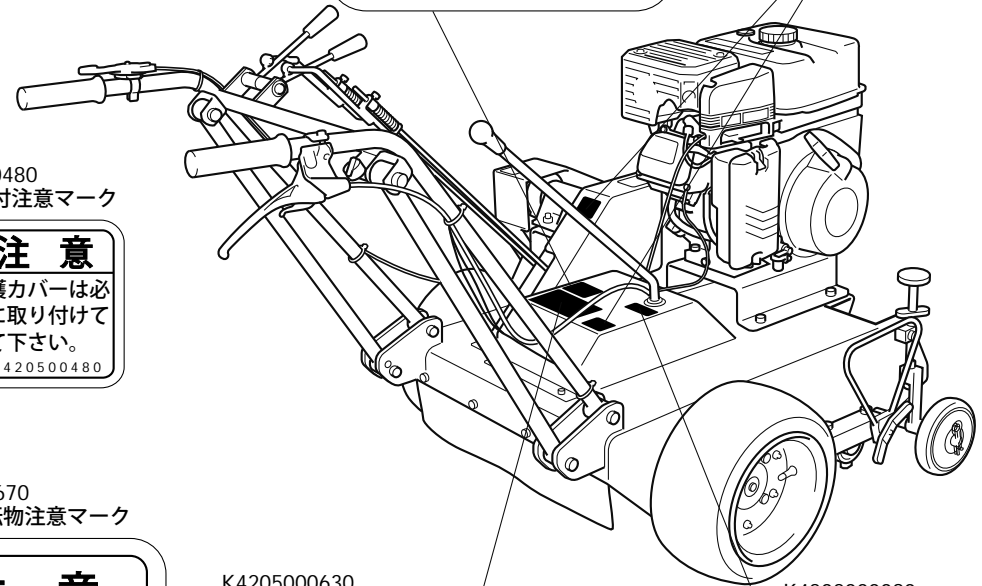


K4205000480
カバー取付注意マーク

注意
この防護カバーは必ず本機に取り付けて作業して下さい。
K420500480

K4205000670
ベルト回転物注意マーク

注意
動力作動中は回転物に触れないで下さい。ベルトや回転物で指や手をケガをする危険があります。
K4205000670



K4205000630
取扱上の注意ラベル

注意
取扱上の注意

- この機械を運転する前に取扱説明書を熟読し十分機械の操作を理解してから運転して下さい。
- 危険・警告・注意等ラベルの指示にしたがって行動しないと死傷又はケガをする結果となります。
- マークやラベルの説明文はきれいに保ち、無くなったり損傷があった場合には、新しいものに交換して下さい。

K420500630

K4202000080
変速プレート

高 低 後
速 速 進
(N) (N)

K4205000700
吹出し口危険マーク

危険
刃が回転中は近づかないこと。
K420500700

K4205000850
刃危険ラベル

危険

- 回転している刃に手足を近づけないこと。
- 刃に触れる場合は、必ず手袋を着用すること。
- 子供には使用させないこと。

K420500850

GS500Bの特長

- サッチの除去により、芝生の分けつけと発芽を促します。
- 通風性と透水性を改善し、病害防除に役立ちます。
- 移動車輪は、ピン1本で簡単に取外すことができます。

仕様

型式	GS500B		
機体寸法	全長	150cm	
	全幅	90cm	
	全高 (深さ目盛0、移動用タイヤ付)	90cm	
総質量	158Kg		
エンジン	名称	三菱GM291LN-431	
	最大出力	5.9kW (8.0PS) /2,000rpm	
	総排気量	0.296L (296cm ³)	
変速	前進2段・後進1段		
速さ	低速 3.6km/h	高速 5.9km/h	後進 2.3km/h
作業速さ	低速 3.6km/h		
能率 (作業幅×作業速さ×0.8)	1,440m ² /h		
深さ調節	0～30mm		
作業幅	50cm (ピッチ25.2mm)		
カッター	厚さ1.2mm 21枚		

取扱説明

1. 使用前点検

1-1 エンジンオイルの点検

エンジンを水平にして、オイルゲージで定量入っているか確認し、少ない場合は補給してください。

オイル交換は初回8時間、2回目以降より50時間毎に行ってください。

使用オイル：オイルSAE30番。

1-2 ワイヤーの点検

ブレーキワイヤー・スロットルワイヤーに異常はないか点検してください。

2. 各部の締付

本機の各部にはボルト止めが多く使われています。

初めのうちは使用しますと、ボルト・ナット等にゆるみが出る場合がありますので各部を点検し、増し締めをしてください。

適正締付トルクN・m (kgf・cm)

	普通ボルト	調質ボルト
M6	8 (80)	16 (160)
M8	18 (180)	36 (360)
M10	36 (360)	72 (720)
M12	60 (600)	

3. エンジン始動運転順序

3-1 ⚠️ 警告 エンジン始動について



・エンジン始動前に、ガソリンエンジン取扱説明書を読み、充分理解してください。

ハンドルにエンジンスイッチを装着していますので、「ON/OFF」を確かめてください。



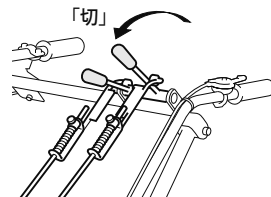
・エンジンを始動する前に全ての駆動を中立にしてください。

・カバー類が正しい位置にあって損傷していないか、機械の周囲に人がいないか、安全を確認してからエンジンを始動してください。

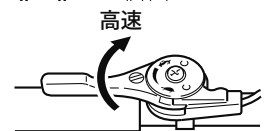
・室内および換気の悪い場所では、エンジンを始動しないでください。

3-2 ⚠️ 注意 エンジン始動運転方法

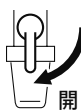
1) カッタークラッチレバー・走行クラッチレバーを必ず「切」の位置にします。



2) スロットルレバーを「高速」にします。



3) ストレーナーレバーを開にします。



4) エンジンスイッチのレバーを「ON」にします。



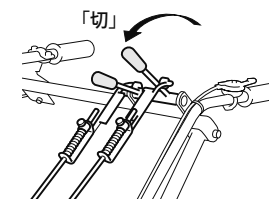
5) チョークレバーを引いてリコイルスターターを引けば始動します。

6) チョークレバーを戻します。

3-3 ⚠️ 注意 エンジン停止方法

※緊急時のエンジン停止方法を知っておいて下さい。

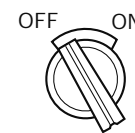
1) カッタークラッチレバー・走行クラッチレバーを必ず「切」の位置にします。



2) スロットルレバーを「低速」にします。



3) エンジンスイッチのレバーを「OFF」にします。



4) ストレーナーレバーを閉にします。



※ 緊急時は直ちにエンジンスイッチのレバーを「OFF」にします。

3-4 ⚠️ 危険 燃料給油



・燃料補給時は火気厳禁です。
補給は屋外でエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。

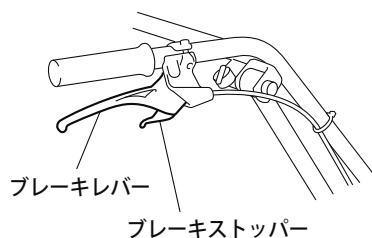
・こぼれた燃料はきれいに拭き取ってください。



・機械は常にきれいに保ち、ゴミ、ホコリの堆積やグリース・オイルの付着がないようにしてください。

3-5 **▲注意** 機械を離れる時の注意

- 機械を水平な所に駐車してください。
- ブレーキストッパーを必ずかけてください。



- エンジンが停止し、エンジンスイッチのレバーが「OFF」になっているのを確かめてください。
- 傾斜地の駐車は絶対しないでください。

4. 機械の操作について

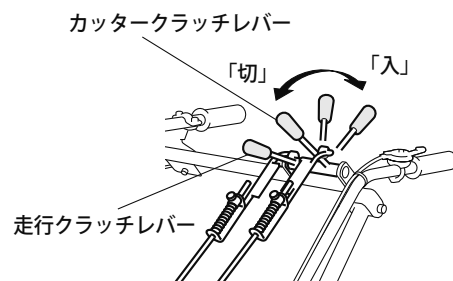
4-1 **▲危険** 操作をする前に

- 機械を操作する前に各部の作動が良好であること、特にブレーキ、クラッチ等は完全であるか確かめてください。
- どのような場合にも緊急停止が出来るようにしてください。
- あなた自身及び周囲の人がケガをしないようにしてください。

4-2 カッタークラッチレバー・走行クラッチレバー

カッタークラッチレバー・走行クラッチレバーはハンドル上部の左側にあり、前に倒すと「切」になり停止します。

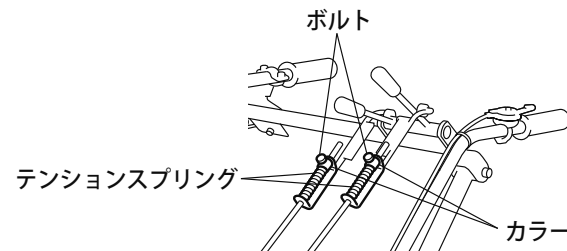
手前に引くと「入」になり稼働します。急な操作を行わないように注意し、ゆっくり操作してください。



4-3 カッタークラッチレバー・走行クラッチレバーのテンション調節

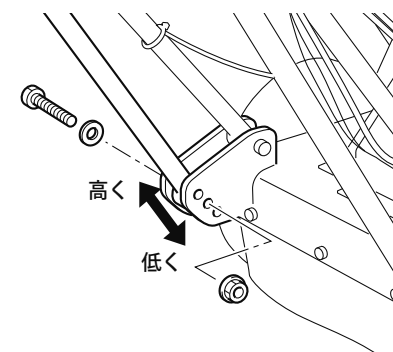
図に示してあるテンションスプリングを縮めるように、カラーのボルトをゆるめ調節します。

クラッチを入れてVベルトの張り具合が丁度いい所に設定してください。



4-4 ハンドルの高さ調節

ハンドルをフレームに固定している固定ボルトの位置を上下に調整する事により、使用者の作業位置に合わせてハンドルの高さ調節ができます。



▲注意

- ハンドルの高さを調節した場合、カッタークラッチレバー・走行クラッチレバーのテンション調節も行ってください。ハンドルの上下によりテンションの強さが変化します。

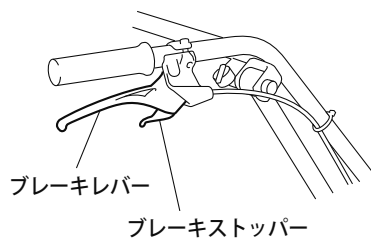
※ **4-3** を参照してください。

4-5 警告 ブレーキレバー

ハンドル右側のグリップ部にあり、レバーを握るとミッションにセットされた内拵ブレーキが作動します。また、レバーを握ったままストッパーをかけると、ブレーキが固定できます。

ブレーキ調節は、ミッション側のワイヤー取り付け部に付いているアジャスタボルトで調節してください。あまりワイヤーを張り過ぎるとブレーキレバー解除の状態でもきいてしまいますので注意してください。

なお、ワイヤー調節してもブレーキのききが悪い場合、ブレーキドラムの中のブレーキシューを交換してください。



4-6 スロットルレバー

ハンドルの左側にあり、エンジン回転の高低をレバーで調節します。

回転速度は700～1900rpmです。作業は1500～1800rpm位を目安に行ってください。

4-7 移動用前車輪

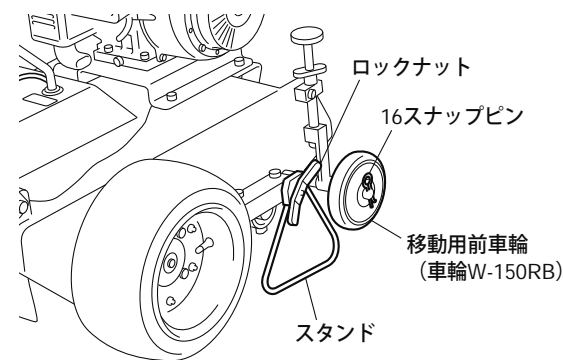
危険

- ・移動用前車輪の取り外しを行うときは、必ずエンジンを停止して行ってください。
- ・作業は機械を水平に保てる地盤の場所で行ってください。

グリーンからグリーン、管理棟へ移動するときに使用します。

【外し方】

- 1) 「スタンド」の「ロックナット」をゆるめます。
- 2) ハンドルを下に押し機械本体の前部を浮かすことによって「スタンド」が下に向けた状態になります。
- 3) ハンドルから手を離すと前車輪が浮いたままの状態になっていますので、両側に付いている「16スナップピン」を抜いて、両側の前車輪「車輪W-150RB」を外してください。
- 4) 前輪を外したら機械本体を前後に動かし「スタンド」がかかっている（前ローラーが地面に接地した）状態にし「スタンド」を上へ上げ「ロックナット」をしっかりと締めます。



警告



- ・「ロックナット」をしっかりと締めておかないと、作業中および移動中に「スタンド」が下がって芝生などに食い込み、ハンドルをとられる危険があるので充分注意してください。
- ・「スタンド」をたてた状態で、機械から離れないでください。「スタンド」をたてた状態は非常に不安定です。

4-8 切り込み深さ調節



警告



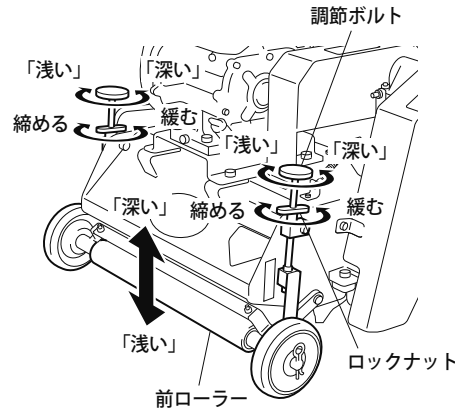
- ・スライス刃やベルトが回転して危険です。深さを調節する場合は、エンジンを切ってください。
- ・前ローラーを上下させるときは、左右の調節ボルトを2回転以内づつ交互に回してください。片方だけ上下移動させるとローラー部周辺部品に無理な力がかかり変形します。



スライス刃の切り込み深さは、ローラー部左右にある調節ボルトを回転することにより前ローラーが上下して調節することができます。

【スライス刃の深さ調節】

- 1) 左右の「ロックナット」をゆるめます。
- 2) 左右の「調節ボルト」を回し、切り込み深さを調節します。(約2mm/回転で、目盛マークの1目盛は2mmです。目安としてください。)
- 3) 左右の「ロックナット」を締めて、「調節ボルト」が固定されていることを確認してください。



警告

- ・作業中は大変危険ですので、切り込み深さの調節をしないでください。

〔重要〕

目盛は深度を表しているのではなく、あくまでも目安ですので、深度は実際に作業してみて判断してください。

4-9 〔重要〕 グリースアップ



50h

- 各部グリースニップルへ定期的にグリースアップをしてください。
グリースニップルにグリース（エクセライトEPNO2）を定期的に各々約1g（手動式小型グリースポンプにて1～2回）グリースアップをしてください。

5. 作業手順



警告

- ・地盤沈下や地滑りの危険性のある場所では作業しないでください。
- ・凹凸の激しい斜面では、転倒する恐れがありますので、作業しないでください。
- ・本機は、グリーン用管理機械ですので急傾斜地での作業は、横転の危険が非常に高いので使用しないでください。
- ・濡れた斜面では、スリップして転倒する恐れがありますので、作業しないでください。
- ・プレイヤーが近くにいないか確認してください。打球が飛んでくる危険があります。
- ・運転中は周囲の安全（前後左右、立ち木や溝、ほ場の凹凸、散水機、カップなど）を確認し、いつでも緊急停止できるスピードで作業してください。特に坂道を下るときは、必ず低速走行してください。
- ・刃物部が芝生に下がった作業状態にあるときは、後進や旋回はしないでください。



注意

- ・動力作動中は刃物やVベルトなどの可動部分に触れないでください。指や手がケガをする危険があります。
- ・刃物を回転させずに作業部を下げて前進しないでください。芝や機械に重大な損害をもたらします。
- ・機械はゆっくりと降ろし、芝や機械を損傷ないようにしてください。
- ・石や岩が地中にあると予想される場合は、刃物回転速度を下げてください。
- ・作業中、異常振動や異常音の発生（針金・ビニールなどがクランク軸に巻き付き）など、機械の異常を認めたら直ちにエンジンを停止して原因を調べ、完全に補修した上で再使用してください。
- ・障害物に衝突したら、エンジンを停止し、各部の破損の有無を点検してください。
- ・作業前に石、針金、棒切れ等障害物は取り除いてください。機械の故障の原因になるばかりでなく、飛散して事故を起こす恐れがあります。
- ・機械から離れるときは平坦地に置き、エンジンを止め、必ずブレーキストッパーをかけてください。
- ・本機は照明装置を備えていませんので、夜間や視界の悪いときは走行、作業をしないでください。

5-1 作業手順操作

1) 本機を作業場所（グリーン）まで自走して行くか、牽引台車に乗せて移動させます。



- ・公道は絶対に自走しないでください。
- ・運転作業は慎重に、脇見、手放し運転など絶対に行わないでください。
- ・牽引台車で移動する場合、機械はロープなどでしっかりと固定してください。

2) 作業場所についたら走行クラッチを切ってエンジンを停止させます。

3) 刃物の切り込み深さの調節を行ってください。



- ・スライス刃やベルトが回転して危険です。深さを調節する場合は、エンジンを切ってください。

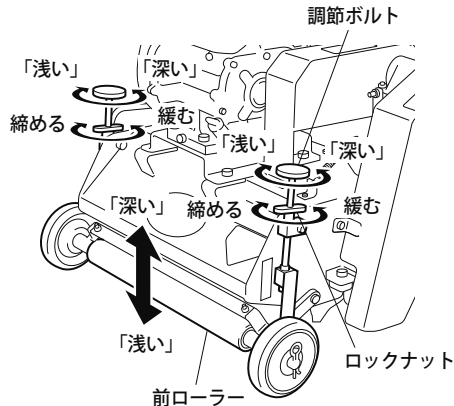


- ・前ローラーを上下させるときは、左右の調節ボルトを2回転以内づつ交互に回してください。片方だけ上下移動させるとローラー部周辺部品に無理な力がかかり変形します。

スライス刃の切り込み深さは、ローラー部左右にある調節ボルトを回転することにより前ローラーが上下して調節することができます。

【スライス刃の深さ調節】

- ① 左右の「ロックナット」をゆるめます。
- ② 左右の「調節ボルト」を回し、切り込み深さを調節します。（約2mm/回転で、目盛マークの1目盛は2mmです。目安としてください。）
- ③ 左右の「ロックナット」を締めて、「調節ボルト」が固定されていることを確認してください。



- ・作業中は大変危険ですので、切り込み深さの調節をしないでください。

【重要】

目盛は深度を表しているのではなく、あくまでも目安ですので、深度は実際に作業してみて判断してください。

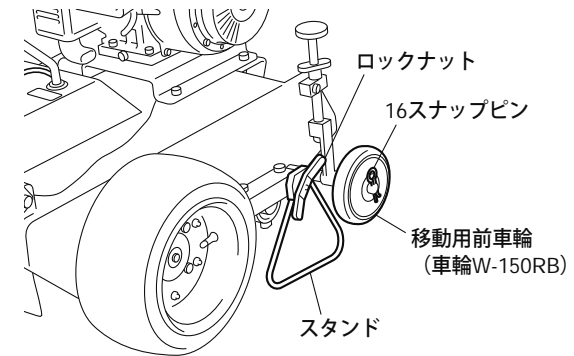
4) 移動用前車輪を取り外します。



- ・移動用前車輪の取り外しを行うときは、必ずエンジンを停止して行ってください。
- ・作業は機械を水平に保てる地盤の場所で行ってください。グリーンからグリーン、管理棟へ移動するときに使用します。

【外し方】

- ① 「スタンド」の「ロックナット」をゆるめます。
- ② ハンドルを下に押しつけて機械本体の前部を浮かすことによって「スタンド」が下に向けた状態になります。
- ③ ハンドルから手を離すと前車輪が浮いたままの状態になっていますので、両側に付いている「16スナップピン」を抜いて、両側の前車輪「車輪W-150RB」を外してください。
- ④ 前輪を外したら機械本体を前後に動かし「スタンド」がかかっている（前ローラーが地面に接地した）状態にし「スタンド」を上へ上げ「ロックナット」をしっかり締めます。



- ・「ロックナット」をしっかり締めておかないと、作業中および移動中に「スタンド」が下がって芝生などに食い込み、ハンドルをとられる危険があるので充分注意してください。
- ・「スタンド」をたてた状態で、機械から離れないでください。「スタンド」をたてた状態は非常に不安定です。

5) エンジンを再始動します。

- 6) ハンドルを押さえて、刃物部を芝生より上に浮かせた状態で変速を低速に入れ、状況に応じたエンジン回転速度でスライス作業ラインに向かいます。

⚠ 危険

- ・走行中にチェンジの切り替えは行わないでください。行う場合は必ず機械が移動していない状態で行ってください。

- 7) 作業ライン付近にきたら、カッタークラッチレバーを手前に引いて「入」にして刃物を回転させます。

⚠ 危険

- ・動力作動中は、刃物やVベルトなどの可動部分に触れないでください。指や手がケガをする危険があります。



- ・カッタークラッチは作業直前に入れ、それ以外のときは必ず切っておいてください。

- 8) 作業ラインに到着したら、ハンドルを押さえている手の力をゆっくりと抜き、前ローラーを下につけて作業します。

⚠ 危険

- ・作業は必ず低速で、状況に応じたエンジン回転速度で行ってください。
- ・後進作業は危険ですので絶対に行わないでください。
- ・運転作業は慎重に、脇見、手放し運転などは絶対に行わないでください。

- 9) 作業ラインが終わったら、ハンドルを押さえて刃物部を浮かせてターンします。

⚠ 危険

- ・事故防止のため、作業場所付近には人を近づけないでください。特に刃が回転中は近づかないでください。



- 10) 作業が全て終了したら、移動用前車輪を取り付けて移動してください。

⚠ 危険

- ・移動用前車輪取付時は必ずエンジンを停止させてください。

6. スライス刃の交換

⚠ 警告

- ・スライス刃やベルトが回転して危険です。スライス刃を交換する場合は必ずエンジンを切ってください。



⚠ 注意

- ・スライス刃は危険ですので、手袋をして取り扱ってください。
- ・スタンドは、移動用前車輪の取り外し用なので使用しないでください。



6-1 刃物軸の切り離し

- 1) 「カバーA COMP」を取り外し、Vベルト2本も外します。
- 2) 刃物シャフトの左右にある「ピロー形ユニットベアリング」の「取付ボルト」をゆるめて取り、刃物部を下におろします。

⚠ 警告

- ・左右の「ピロー形ユニットベアリング」を外すと刃のついた刃物軸が抜け落ちますので充分注意して作業を行ってください。



6-2

⚠ 注意 スライス刃の交換



- 1) 六角ナット側（プーリーの逆側）の「ピロー形ユニットベアリング」をローラーセット（2カ所）で止めていますので、ゆるめてから「ピロー形ユニットベアリング」を抜いてください。
- 2) 六角ナットの「27ナット」をゆるめて、「スライス刃」と「カラー24」を取り外します。
- 3) 新しいスライス刃を以前の様に、1枚ごとに1角ずつ角度を変えて組み込んでください。
- 4) スペーサー用の「カラー24」は1枚24mmですので、条件に応じて刃の間隔を調節してください。

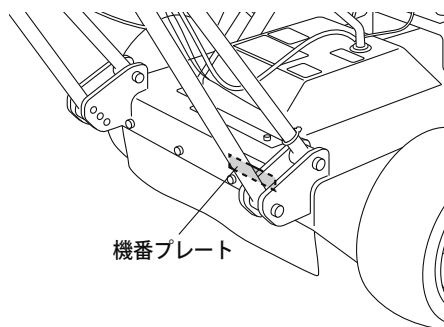
5) 六角ナットの「27ナット」をしっかりと締めてください。

※刃物部の組付けは、**6-1** 刃物軸の切り離しと逆の手順で行ってください。

6-3 機番プレート取付位置

機番プレートには型式、製造番号が刻印されています。

取付位置はフレーム後部右側です。



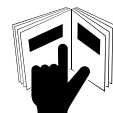
6-4 メンテナンス諸元表

エンジンオイル量	1.0L
使用プラグ	NGK・BP5ES
ガソリンタンク容量	6.0L
タイヤ空気圧	120kPa (1.2kgf/cm ²)
エンジン回転速度	700~1900rpm
ミッションオイル量	1.0L (ギヤオイルSAE90)

6-5 メンテナンス時の機械姿勢について

機械のメンテナンスを行うときなど、ハンドル側を下にして倒した姿勢で長時間放置すると、エンジンの燃焼室にエンジンオイルが入り、エンジン不調の原因となることがありますので注意してください。

7. 長期保管について



1) エンジンについては、エンジンの取扱説明書をご覧ください。

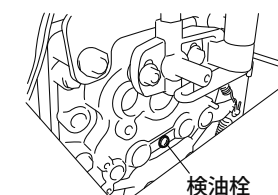
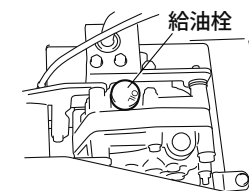
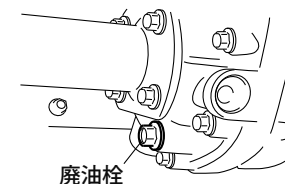
- 2) 本機をきれいに清掃し、各摺動部にグリース及びオイルを注油してください。
- 3) タイヤの空気圧を標準よりやや高めにし、湿気から守るために板の上に乗せてください。
- 4) ボルト・ナットの緩み、脱落を点検してください。もし緩み、脱落があれば増し締めや補修をしてください。
- 5) その他各部の不具合箇所、塗装のはげ落ちた箇所は整備してください。
- 6) 雨のかからぬ乾燥した所にカバー等をかけて格納してください。

〔重要〕

長期使用しない場合キャブレター内のガソリンを全て抜き去ってください。ガソリンが腐敗した場合、キャブレターを交換しないとエンジンがかからないことがあります。

8. ミッションオイル交換手順

- 1) 本機下部にあるミッションの排油栓を取り外し、古くなったオイルを抜きます。
※ミッションオイルが完全に冷えているときよりも、やや温度が高い方がオイルの抜けは良くなりますが、高温時は火傷する恐れがありますのでご注意ください。
- 2) 排油栓を取り付けます。
- 3) 本機上部の給油栓を外して、新しいミッションオイル (ギヤオイルSAE90) を1.0L給油します。
- 4) 給油栓を取り付けます。
- 5) オイル量は検油栓を外すことにより確認できます。



9. 注意 エンジン取り扱い上の注意事項

エンジンについてはエンジン取扱説明書を読んで下さい。



- 1) エンジンの燃料はガソリンを使用してください。
- 2) 本機は振動、ほこり等、使用条件が苛酷なためにエンジンオイルの交換は、初回は8時間使用して全量交換し、次からは50時間毎交換してください。エンジンオイル量=1.0LでSAE30番のオイルを使用してください。
- 3) エアクリーナーエレメントの清掃は使用前には必ず行ってください。

危険



- 4) 給油時は火気厳禁です。タバコの火等は十分に注意してください。燃料の補給は屋外でエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。こぼれた燃料はきれいに拭き取ってください。

警告



- 5) 室内および換気の悪い場所では、エンジンは始動しないでください。

注意

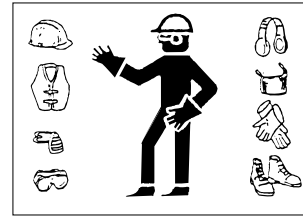


- 6) マフラー及びマフラー排気口付近は高温になります。ガソリン、マッチ、芝かす等、燃えやすいものを近付けないように注意してください。

- 7) 作業前点検
燃料パイプ等の取付部がゆるんだり、損傷していないか確認してください。
各部のボルト・ナット等のゆるみがないか確認してください。

警告

- 8) 運転する時の服装にご注意ください。前かけ、腰タオル等、特に長いヒモ類は巻き込まれたり、引っ掛かったりする恐れがあり危険です。



- 9) 長期保存、6ヶ月以上使用しないときは、燃料タンク、キャブレター内のガソリンは抜いておいてください。
- 10) エンジンのメンテナンススケジュール
エンジンを常に最良の状態に運転するために、次の点検表に従って保守点検を必ず行ってください。

10. メンテナンススケジュール

○・・・点検、調整、補給、清掃

●・・・交換

メンテナンス項目		使用前	50時間 毎	200時間 毎	300時間 毎	備考
エンジン	オイルレベルのチェック	○				
	オイル交換		●			最初は8時間
	エアクリーナー・エレメント清掃	○		●		
	スパークプラグ交換			●		
	燃料チェック	○				
本体	ミッションオイル交換				●	最初は50時間
	ブレーキワイヤー	○				(※)
	Vベルト	○				(※)
	Vベルト交換			●		
	タイヤの空気圧	○				
	各部のネジの緩み	○				
	グリスアップ		○			
ゴミ等の除去	○					

※ 使用前の点検で亀裂・損傷・磨耗等がある場合は、ただちに交換してください。メンテナンス等に必要の工具は、目的にあったものを使用してください。

バロネス管理機

グリーンスライサー **GS500B**

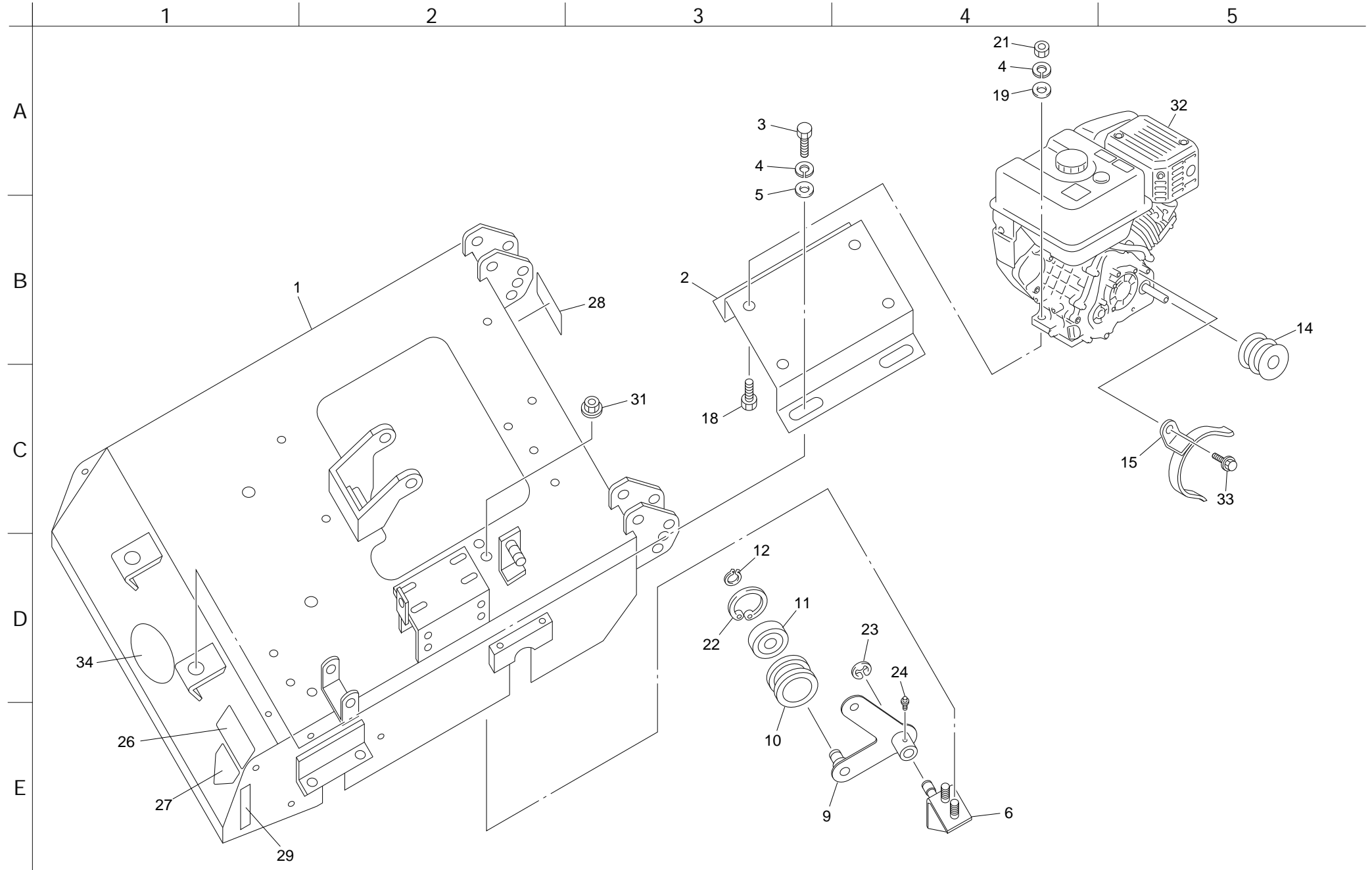
パーツカタログ

☆部品注文について

本パーツ表の部品は電算機にて管理しておりますが、誤送の原因ともなりますので、部品注文の際は必ずカタログ番号、コード番号、部品名称でご注文ください。

(例) カタログ番号	コード番号	部品名称	個数
1-23	K0400012002	ストップリングE12	1

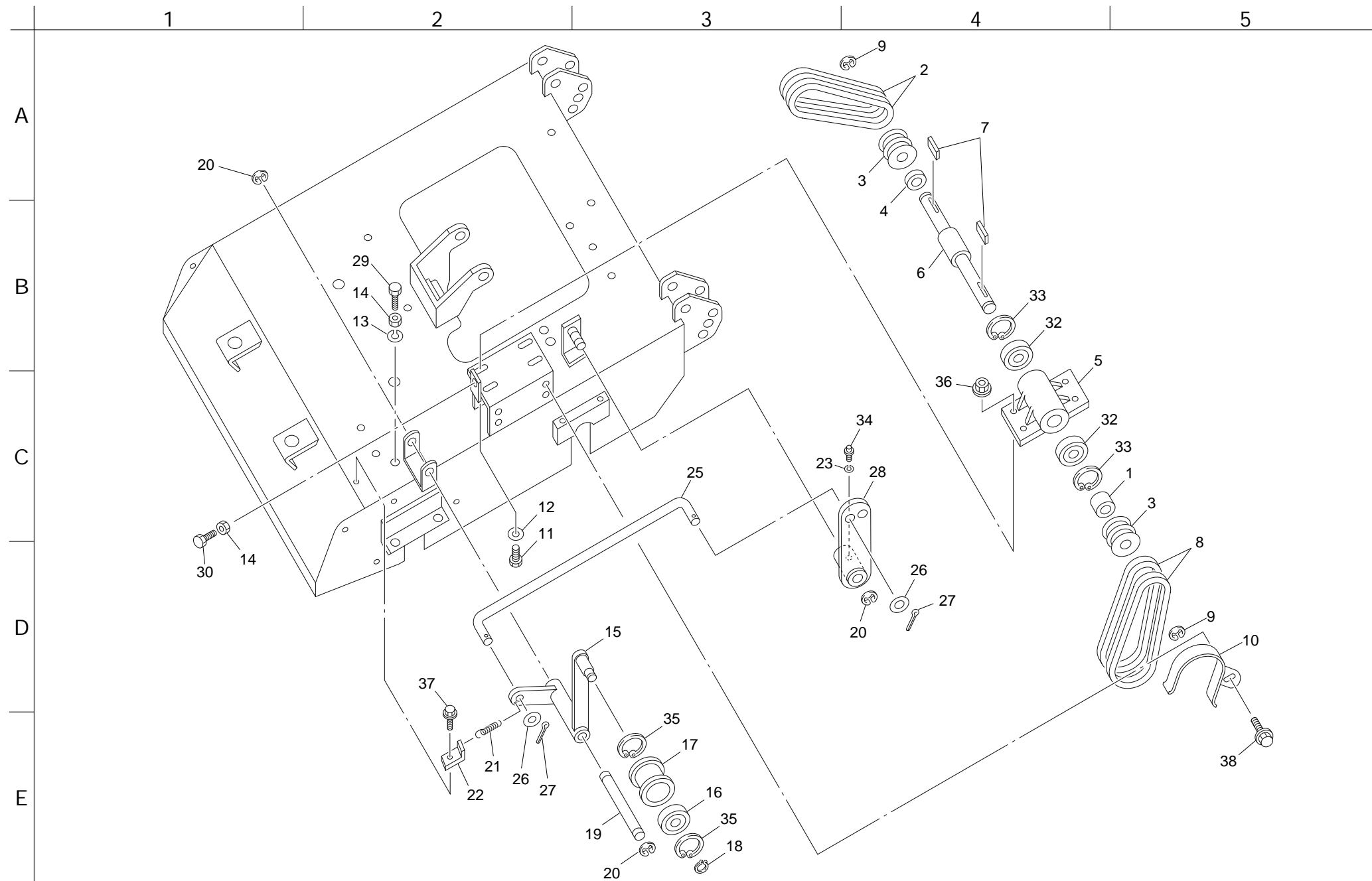
1. フレーム・エンジン部



カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
1-1	GS500B-0180Z0	フレームCOMP	1	
1-2	GS500B-0430ZR	エンジンベース	1	
1-3	K0000100302	10ボルト30	4	
1-4	K0200100002	10Sワッシャー	8	
1-5	K5073210262	3.2SPHC座金1026	4	
1-6	GS500A-0411Z2	ブラケット	1	
1-7				
1-8				
1-9	GS500A-0410Z2	走行テンションレバー	1	
1-10	K2471220502	テンションプーリー2250	1	
1-11	K0612062030	ベアリング62032RD	1	
1-12	K0401017001	ストップリングS17	1	
1-13				
1-14	GS500A-0431Z2	エンジンプーリー	1	
1-15	GS500B-0401Z2	ベルトストッパーC	1	
1-16				
1-17				
1-18	K0000100402	10ボルト40	4	
1-19	K5000100002	10ワッシャー	4	
1-20				
1-21	K0100100002	10ナット	4	
1-22	K0402040001	ストップリングR40	1	
1-23	K0400012002	ストップリングE12	1	
1-24	K1440000010	グリスニップル	1	
1-25				
1-26	K4205000850	刃危険ラベル	1	
1-27	K4205000700	吹出口危険マーク	1	
1-28	K4200000160	ネームプレート	1	
1-29	K4209000820	目盛マーク	2	
1-30				
1-31	K0151100002	10フランジ付ナット	2	
1-32	K2600000290	三菱GM291LN-431	1	
1-33	K0021080102	8フランジ付ボルト10	1	
1-34	K4201000580	マークGS500B	1	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考

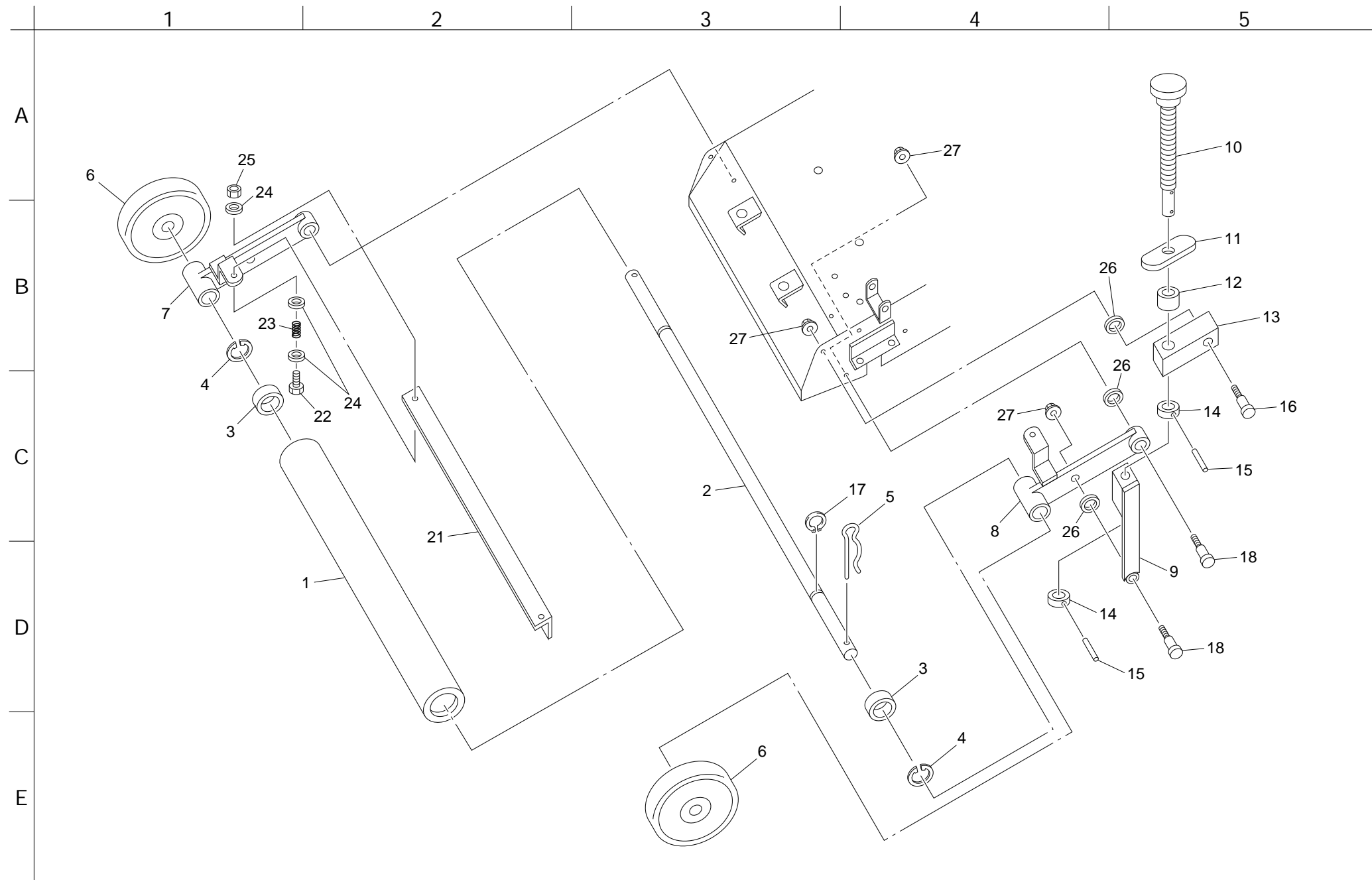
2. 伝動部



カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
2-1	K6212000192	25.2STKMカラー3223	1	
2-2	K2342025000	VベルトOLB25	2	
2-3	GS500A-0432Z2	プーリーC	2	
2-4	K6212001972	25.2STKMカラー3218	1	
2-5	GA1100-3204ZD	中間軸取付板	2	
2-6	GS500A-0440Z2	中間軸A	1	
2-7	K0500707350	7両丸キー735.5	2	
2-8	K2342043000	VベルトOLB43	2	
2-9	K0400019002	ストップリングE19	2	
2-10	GS500A-0446Z2	ベルトストッパーB	1	
2-11	K0000100302	10ボルト30	5	
2-12	K5000100002	10ワッシャー	4	
2-13	K0200100002	10Sワッシャー	1	
2-14	K0100100002	10ナット	2	
2-15	GS500A-0409Z2	テンションレバー	1	
2-16	K0612062040	ベアリング62042RD	1	
2-17	K2473390602	テンションプーリー3960	1	
2-18	K0401020001	ストップリングS20	1	
2-19	GS500A-0403Z2	軸B	1	
2-20	K0400012002	ストップリングE12	3	
2-21	K102000012D	1.6丸フックバネ1295	1	
2-22	K5206000192	ブザー取付金	1	
2-23	K0200060002	6Sワッシャー	1	
2-24				
2-25	GS500A-0407Z2	中間ロッド	1	
2-26	K5000080002	8ワッシャー	2	
2-27	K0300020202	2割ピン20	2	
2-28	GS500A-0408Z2	アイドル	1	
2-29	K0000100402	10ボルト40	1	
2-30				
2-31				
2-32	K0612062050	ベアリング62052RD	2	
2-33	K0402052001	ストップリングR52	2	
2-34	K1440000010	グリスニップル	1	
2-35	K0402047001	ストップリングR47	2	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
2-36	K0151100002	10フランジ付ナット	4	
2-37	K0021060152	6フランジ付ボルト15	1	
2-38	K0021100202	10フランジ付ボルト20	1	

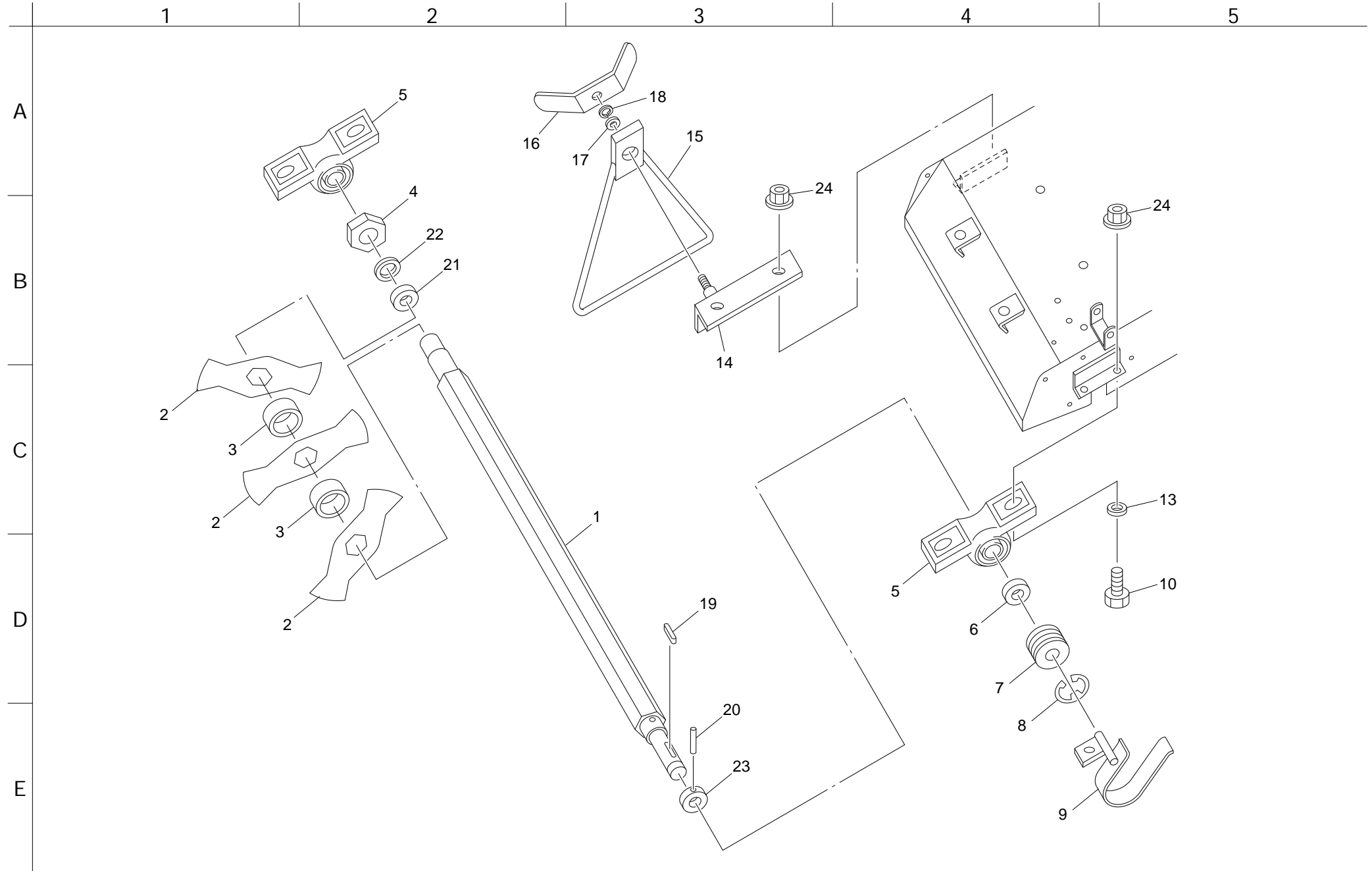
3. フロントローラー部



カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
3-1	GS500A-0501ZD	ローラー	1	
3-2	GS500A-0502Z2	ローラー軸	1	
3-3	K0608062040	ベアリング62042RS	2	
3-4	K0402047001	ストップリングR47	2	
3-5	K0331600008	16スナップピン	2	
3-6	K2140000060	車輪W-150RB	2	
3-7	GS500A-0504Z2	ローラーブラケットR	1	
3-8	GS500A-0503Z2	ローラーブラケットL	1	
3-9	GS500A-0510Z2	調節レバー	2	
3-10	GS500A-0506Z2	調節ボルト	2	
3-11	GS500A-0508Z2	ロックナット	2	
3-12	GS500A-0509Z2	カラー-20	2	
3-13	GS500A-0505Z2	ブロック	2	
3-14	GS500A-0507Z2	穴付カラー	4	
3-15	K0320040221	4スプリングピン22	4	
3-16	GS500A-0516Z8	ボルトA	2	
3-17	K0401020001	ストップリングS20	2	
3-18	GS500A-0515Z8	ボルトC	4	
3-19				
3-20				
3-21	GS500A-0517ZD	スクレパー	1	
3-22	K0000060352	6ボルト35	2	
3-23	K1000000309	1.6圧縮バネ13.720	2	
3-24	K5012306162	2.3SPHC座金616	6	
3-25	K0144060002	6Uナット	2	
3-26	K5011013222	1SPCC座金1322	6	
3-27	K0151100002	10フランジ付ナット	6	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考

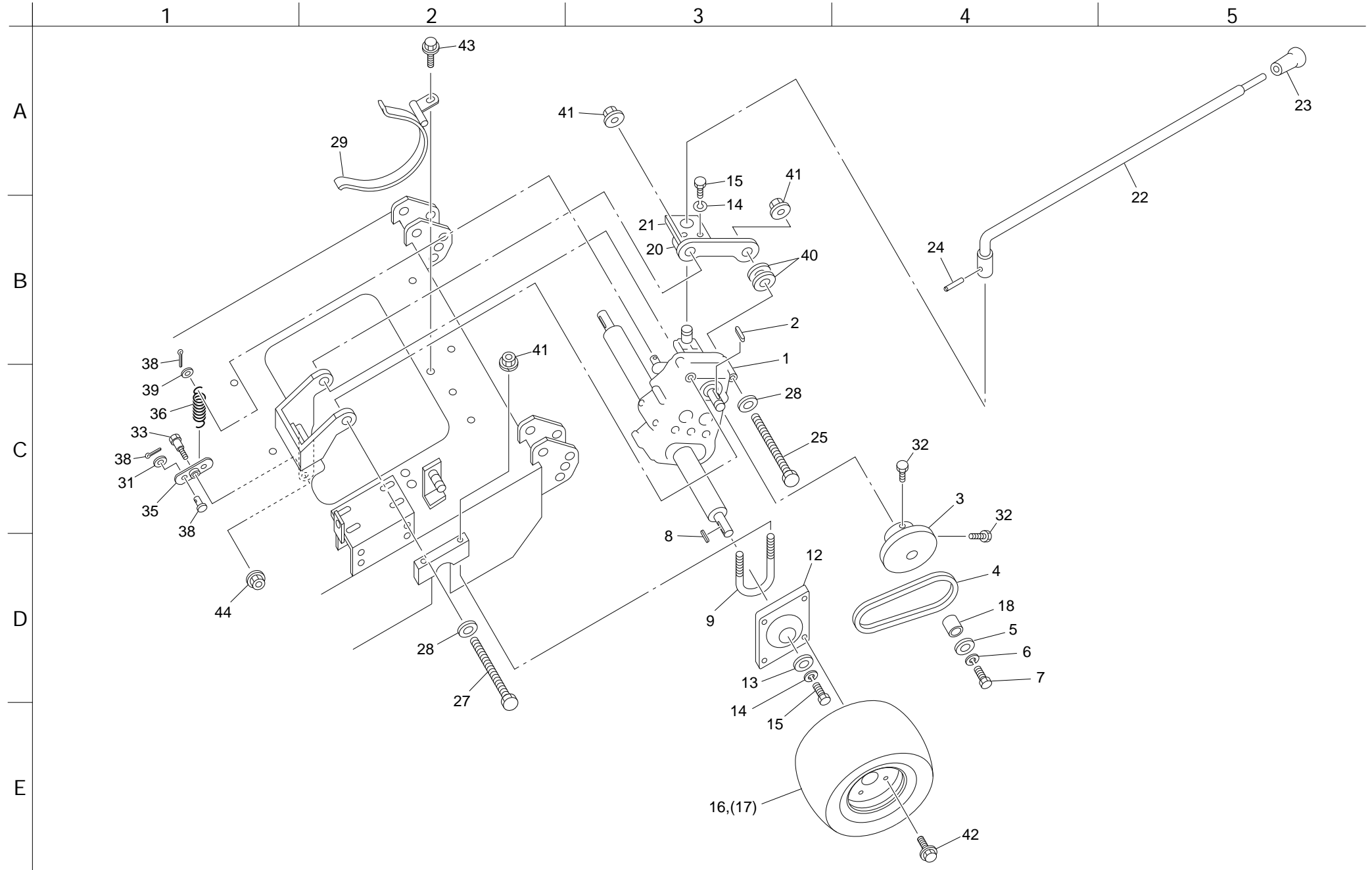
4. 刃物・スタンド部



カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
4-1	GS500A-0201Z2	刃物シャフト	1	
4-2	GS60---0407Z9	1.2スライス刃	21	
4-3	GS60---0406Z2	カラー24	20	
4-4	K0100270002	27ナット	1	
4-5	K0660205000	ピロー形ユニットUCP205	2	
4-6	GS500A-0203Z2	カラー3.3	1	
4-7	GS500A-0432Z2	プーリーC	1	
4-8	K0400019002	ストップリングE19	1	
4-9	GS500A-0445Z2	ベルトストッパーA	1	
4-10	K0000120502	12ボルト50	4	
4-11				
4-12				
4-13	K5000120002	12ワッシャー	4	
4-14	GS500A-0220Z2	スタンドブラケット	1	
4-15	GS500A-0221Z2	スタンド	1	
4-16	GS500A-0222Z2	ロックナット	1	
4-17	K5073208322	3.2SPHC座金832	1	
4-18	K0200080002	8Sワッシャー	1	
4-19	K0500707350	7両丸キー735.5	1	
4-20	K0320080501	8スプリングピン50	1	
4-21	GS60---0408Z2	31.7STKMカラー429	1	
4-22	K0200270002	27Sワッシャー	1	
4-23	GS500A-0202Z2	エンドカラー	1	
4-24	K0151120002	12フランジ付ナット	4	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考

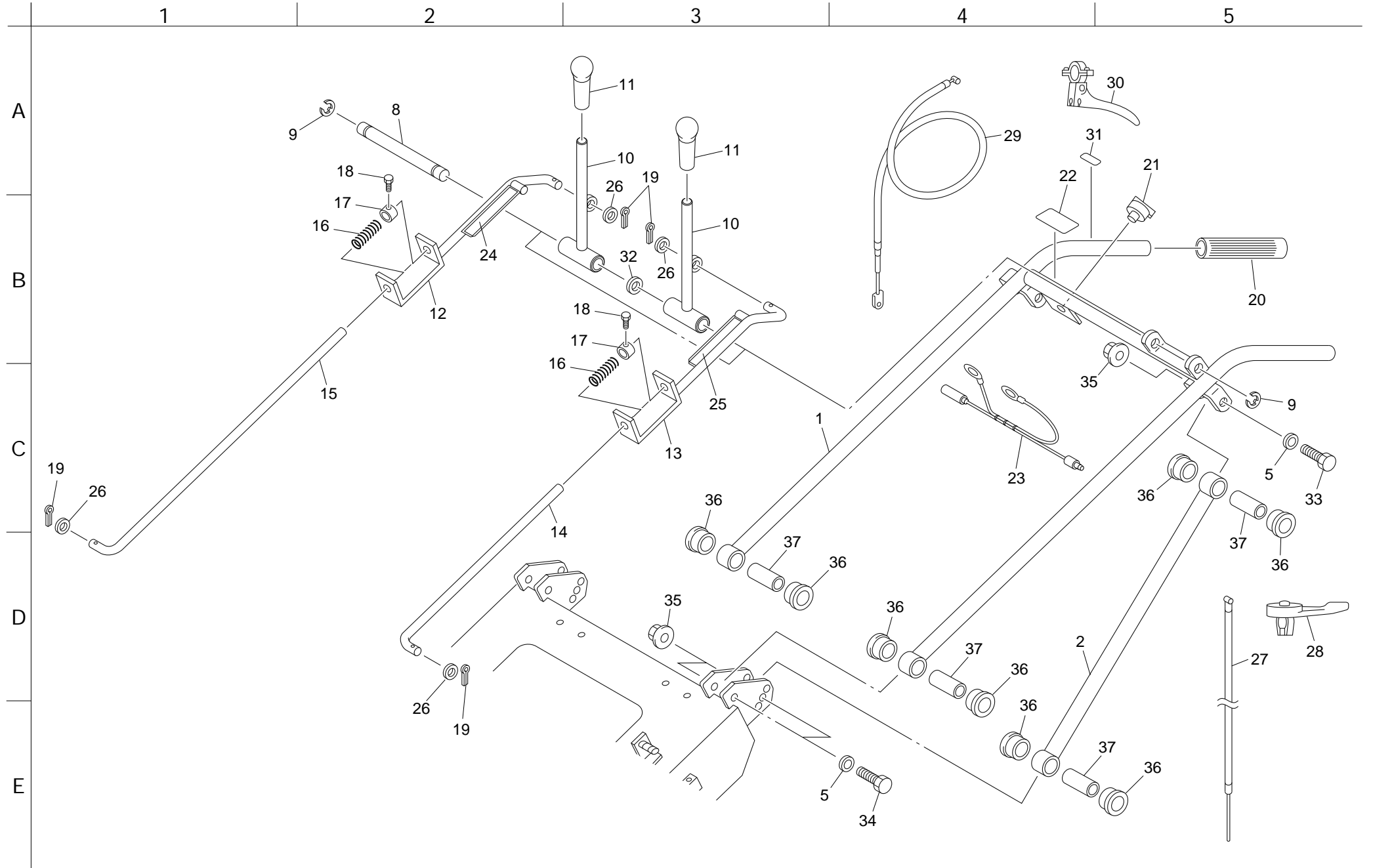
5. ミッション部



カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
5-1	K2700000250	富士ミッションFD20EB05	1	
5-2	K0500505200	5両丸キー520	1	
5-3	GA7000 - 0116Z2	ミッション付プーリー	1	
5-4	K2342045000	VベルトOLB45	1	
5-5	K5073206242	3.2SPHC座金624	1	
5-6	K0200060002	6Sワッシャー	1	
5-7	K0013060301	6調質ボルト30	1	
5-8	K0500707250	7両丸キー725	2	
5-9	GS500A - 0130Z2	Uボルト	2	
5-10				
5-11				
5-12	GS500A - 0141ZR	ホイルフランジ	2	
5-13	K5073208352	3.2SPHC座金835	2	
5-14	K0200080002	8Sワッシャー	4	
5-15	K0010080252	8調質ボルト25	4	
5-16	K2000000140	左車輪13×6.00-8A'ssy	1	
5-17	K2000000130	右車輪13×6.00-8A'ssy	1	
5-18	GS500A - 0145Z2	プーリーカラー	1	
5-19				
5-20	GS500A - 0142Z2	レバー取付板	1	
5-21	GS500A - 0143A2	レバー取付板A	1	
5-22	GS500A - 0140Z2	チェンジハンドル	1	
5-23	K1300000160	11握り黒36	1	
5-24	K0320050251	5スプリングピン25	1	
5-25	K0003101202	10ボルト120	1	
5-26				
5-27	K0003101252	10ボルト125	1	
5-28	K5000100002	10ワッシャー	2	
5-29	GS500A - 0448Z2	ベルトストッパーD	1	
5-30				
5-31				
5-32	K0000080302	8ボルト30	2	
5-33	K0071000972	カッターピン	1	
5-34				
5-35	GS500A - 0144A2	レバー取付板B	1	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
5-36	K103000001D	2.9Uフックバネ1564.2	1	
5-37	K6030080172	8平頭ピン17	1	
5-38	K0300020202	2割ピン20	2	
5-39	K5000060002	6ワッシャー	1	
5-40	K5073210242	3.2SPHC座金1024	2	
5-41	K0151100002	10フランジ付ナット	6	
5-42	K0021100202	10フランジ付ボルト20	8	
5-43	K0021080152	8フランジ付ボルト15	1	
5-44	K0151080002	8フランジ付ナット	1	

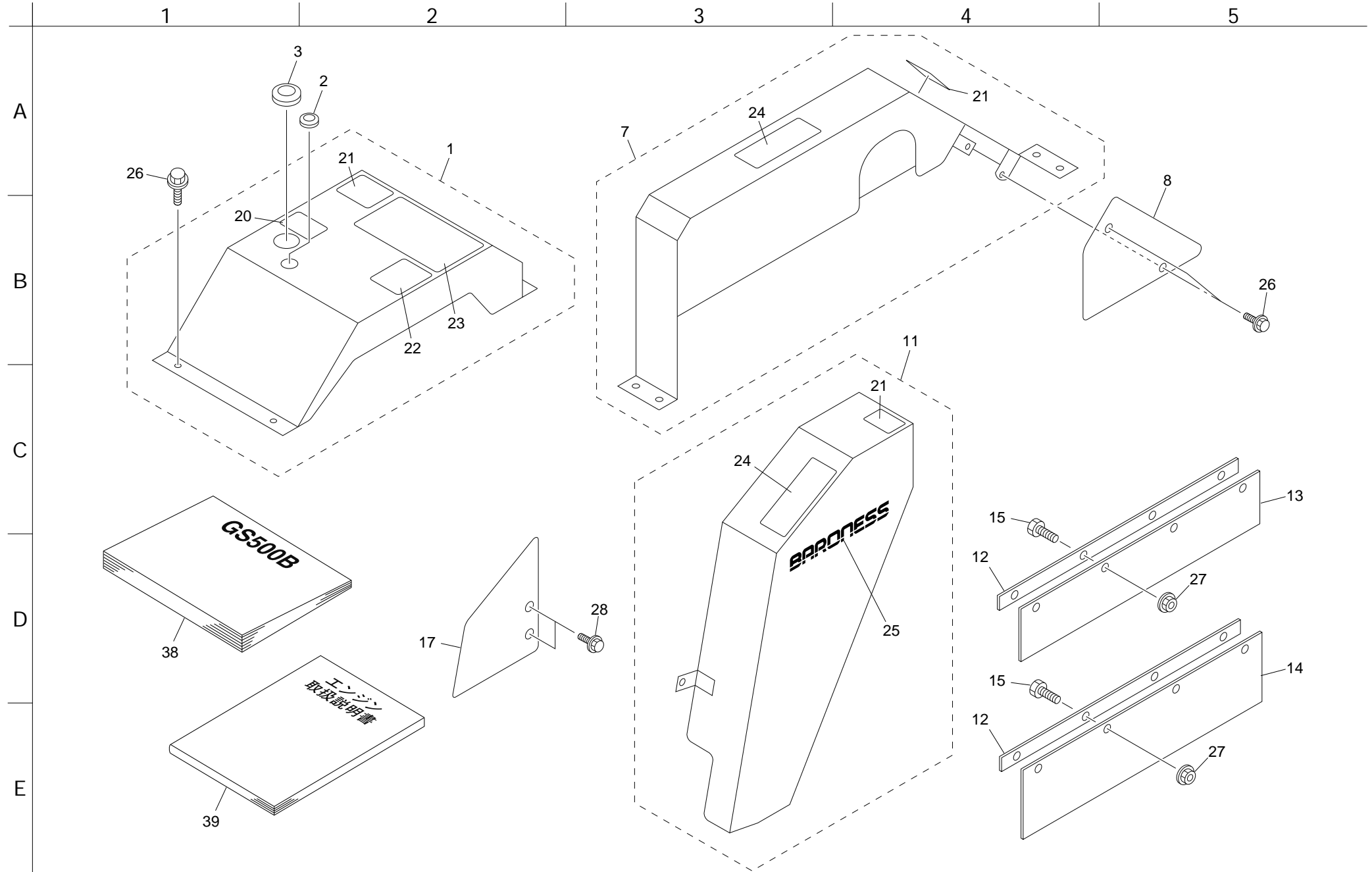
6. ハンドル部



カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
6-1	GS500B-0110ZD	ハンドル	1	
6-2	GS500B-0111ZD	ハンドルステー	2	
6-3				
6-4				
6-5	K5000120002	12ワッシャー	6	
6-6				
6-7				
6-8	GS500A-0404Z2	軸A	1	
6-9	K0400012002	ストップリングE12	2	
6-10	GS500A-0401Z2	クラッチレバー	2	
6-11	K1300000110	9握り黄22	2	
6-12	K7302000032	100テンションロッドガイドR	1	
6-13	K7302000042	100テンションロッドガイドL	1	
6-14	GS500A-0405A2	ロッドA	2	
6-15	GS500A-0406A2	ロッドB	2	
6-16	K1000000078	3.5圧縮バネ17.560	2	
6-17	K6218000022	8.5タップ付きカラー1915	2	
6-18	K0000080102	8ボルト10	2	
6-19	K0300020202	2割ピン20	4	
6-20	K1300000160	ハンドル握り赤25.4	2	
6-21	K3662000050	エンジンスイッチ	1	
6-22	K4203000680	エンジンスイッチマーク	1	
6-23	K3620000840	エンジンスイッチコード8-8A	1	
6-24	GS60---0334Z0	走行クラッチプレート	1	
6-25	GS60---0335Z0	カッタークラッチプレート	1	
6-26	K5000080102	8ワッシャー	4	
6-27	K1110142000	スロットルワイヤー1420	1	
6-28	K1203521010	スロットルレバーE352101	1	
6-29	K1120127000	ブレーキワイヤー1270	1	
6-30	K1241470000	ブレーキレバーE147000	1	
6-31	K4203000440	ブレーキレバーマーク	1	
6-32	K5051016240	1C5191P座金1624	1	
6-33	K0003120702	12ボルト70	2	
6-34	K0003120802	12ボルト80	4	
6-35	K0151120002	12フランジ付ナット	6	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
6-36	K4031000050	ハンドル用ゴム35	12	
6-37	K6211000022	12.7カラー17.340	6	
6-38	K4241000040	コンベックスCV-200B	5	

7. カバー&付属品部



カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
7-1	GS500A-0360Z0	カバーC COMP	1	
7-2	K0900300200	膜付グロメットC30SG20	1	
7-3	K0900300300	膜付グロメットC30SG30	1	
7-4				
7-5				
7-6				
7-7	GS500B-0335Z0	カバーB COMP	1	
7-8	GS500A-0315ZR	カバーD	1	
7-9				
7-10				
7-11	GS500A-0350Z0	カバーA COMP	1	
7-12	GS500A-0135ZR	押え板A	2	
7-13	GS500A-0136Z0	エプロンA	1	(刃物部用)
7-14	GS500A-0137Z0	エプロンB	1	(フレーム部用)
7-15	K0000080202	8ボルト20	8	
7-16				
7-17	GS500A-0317ZR	カバーE	1	
7-18				
7-19				
7-20	K4202000080	変速プレート	1	
7-21	K4205000480	カバー取付注意マーク	3	
7-22	K4205000650	クラッチ注意マーク	1	
7-23	K4205000630	取付上の注意	1	
7-24	K4205000670	ベルト回転物注意マーク	2	
7-25	K4201000390	BARONESSマーク180白	1	
7-26	K0021060102	6フランジ付ボルト10	13	
7-27	K0151080002	8フランジ付ナット	8	
7-28	K0021100152	10フランジ付ボルト15	2	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
7-36				
7-37				
7-38	750104-77	GS500Bパーツカタログ	1	
7-39	KN52009AA	取扱説明書	1	
7-40	KN12004EA	ボックススパナ	1	
7-41	KN13001AA	スクレイドライバ	1	
7-42	FA21533D	ツールバック	1	
7-43	B080A08X016	ボルト	1	
7-44	W405B07X045	キー	1	
7-45	FA24135	ワッシャ	1	



株式会社

共栄社

〒442-8530
愛知県豊川市美幸町1-26

TEL<0533>84-1221(代)
FAX<0533>84-1220